

水鏡に映る幼き子

それは死にたいというだろう

だってわからないことを無くしたいのだから

橙色の豆電球が

暗闇でちかりら光る

死にたくなるのもわかるでしょう

『 水 鏡 の 手 前 で 』

間狭るれ揺てせわ合を手と手

うろだういとる在は僕

らかだのる創はとこいならかわってっだ

が姿う舞の鳥死不に空いたえ消

けだるえ見だたに中の時零

うよしでるかわものなけだる在

生きたくなるのもわかるでしょう

明るみでもがばちりつちと燃える

竈に残るあの炎が

だってわからないことを安心して置いておけるのだから

それは生きたいというだろう

水鏡に映る老いた子

水鏡の手前で

2021年5月18日 執筆

著者 やさかれい
八坂 零

掲載 芸術の星座
